

第4回 伊根町立小学校再編準備委員会のまとめ

開催日 令和8年8月18日（火）

場 所 伊根町コミュニティセンターほっと館 多目的室

参加者 伊根町立小学校再編準備委員会委員、伊根町教育委員会教育長、教育委員会事務局
（※福島委員長がWEB参加、キタイ設計株式会社が同席）

1 開会挨拶（福島委員長）

2 報告事項

（1）運営部会所掌事務の進捗状況について

ア 学校等所掌事務

- ・夏休みに教育計画部会を開催し、新しい学校の指導方針や年間計画の検討を行った。
- ・伊根小及び本庄小の教育目標等を整理し、教職員の願い（「主体的に学ぶ」「自信を持てる」「他者と学び合い、認め合える」「ふるさとを愛し、未来を考える」）をまとめ、仮の学校教育目標を設定した。
- ・8月5日には両校の教職員による伊根町のフィールドワーク（校区巡り）を実施し、新しい教育活動のイメージを共有。
- ・2学期の取組として、11月18日に本庄小学校の児童が伊根小学校へバスで登校し、午前中の授業や給食を一緒に過ごす「交流学习」を予定。

イ 教育委員会事務局等所掌事務

- ・旧校舎（本庄小）の解体設計について、キタイ設計株式会社と契約を完了し調査中（来年6月頃の解体工事着手を目指す）、ICT環境の移管に向けた費用算出を進めている。
- ・新校舎の新築工事についてもキタイ設計株式会社と契約し、配置計画（ゾーニング案）の協議を行っていく。

（2）校名・校歌について

ア 校名について

- ・広報7月号において再編後の小学校名称が「伊根小学校」に決定したことを周知。

イ 校歌について

- ・作成された校歌の歌詞が完成
- ・今後は作曲依頼に移り、年内の完成を目指して児童が歌うタイミング等を学校側と調整していく予定。

3 協議事項

(1) 校章デザイン選考の取り扱い及び今後の進め方について

事務局から、住民公募で寄せられた作品について応募状況を鑑み、選考実施が困難であると判断している旨報告し、今後の進め方について協議しました。

【協議内容】

- ・当初予定していた公募デザインからの選考する方法を改め、専門のデザイン事業者から複数のデザイン案を提示してもらい、当該デザイン案の中から選考する方式へ切り替えることについて承認。
- ・上記対応の際、応募された貴重なアイデアや熱意を無駄にしないため、応募者の許諾を得た上で、事業者に参加資料として提供する方針を確認。
- ・選考プロセス変更に伴う応募者への丁寧な説明や選考方法の変更に係る周知方法等の詳細については、事務局に一任することを確認。

(2) 新施設の基本設計に係るスケジュールおよび視察研修の振り返りについて

- ・今後の準備委員会（8月＝ゾーニング案、10月＝内部レイアウト、11月＝詳細図面、12月＝基本設計案、3月＝基本設計完了・工事費説明）のスケジュール案を提示
- ・8月3日に実施した滋賀県近江八幡市立桐原小学校（コミュニティエリア整備事業との複合施設）への視察研修の振り返り。

(3) 新校舎のゾーニング案の提案について

基本設計委託事業者であるキタイ設計株式会社から、新校舎の配置計画に関する4つの案が提示され、教育委員会としては、現在の本庄小学校の敷地配置と同様で、設計上の評価項目上の評価が最も高かった「A案」を基本路線として検討したいと説明しました。

【委員からの主な意見や質疑応答】

- ・体育館の活用について、中学校の部活動で雨天の練習時に施設が手狭であるという意見があるため、新しい体育館を中学校等でも活用できるよう考慮してほしい。
→当該部活動がソフトテニスのことであれば、伊根中学校体育館が雨天時の練習において狭小であるという状況は承知しており、設計上の検討が必要と認識している。
- ・駐車場からグラウンドへの動線について、A案では一度校舎内を通る表記となっているが、防犯上の鍵の管理や利用者の利便性を考慮し、駐車場から土足のまま直接グラウンドに行けるような動線（渡り廊下や通路）を検討してほしい。
→これから平面配置を検討するにあたり、土足での駐車場からグラウンドへの動線の確保について検討していきたい。

- ・グラウンドと駐車場が近い方がよいという観点では、駐車場と校舎を北に配置し、グラウンドを南に配置する C 案もよいと感じる。

- ・ゾーニング位置について、平成初期、筒川が氾濫した際、本庄地区コミュニティセンターの位置は床上浸水があった。校舎側はグラウンドより 1 m 程度土地が高い位置にあることから、防災上、現在の校舎側に建物を配置する方がよいと考える。

- ・今回提示されたゾーニング案では、本庄保育所の敷地について小学校施設として用いる案となっている。本庄保育所は現在休所であり、どのように考えればよいのか。

→ゾーニング案は、町有敷地の有効活用を想定した配置の提案であり、教育の充実を図るにはどのような施設配置とすべきかという観点から意見をいただきたい。ゾーニング案の検討にあたっては所管課と事前打合せをしている。保育所の存続判断は、別途町長部局による正式なプロセスを経て決定されるものであり、この場の議論で保育所の廃置分合について何か決定するものではないことは留意いただきたい。

- ・A 案では、グラウンドと駐車場が校舎から見通せない点が気になる。実際の利用においては教員の意見を聞いたうえで検討してほしい。

→現在、教職員向けアンケートを実施しており、設計内容の検討材料とする予定。

- ・近江八幡市立桐原小学校での視察では、当該施設は住民開放等、コミュニティ機能の複合施設であったが、今回の設計においては複合施設とする予定であるか。

→新設校においてもコミュニティ、放課後児童クラブ、防災機能を複合した施設として整備することをコンセプトとしている。次回以降の委員会において詳細な平面図を提示する際に確認いただきたい。

- ・防犯の観点から、グラウンドと隣地の敷地境界にフェンスは設置されるか。また、A 案では駐車場が 70 台程度と記載されているが、現状と比較して広がるのか。

→フェンスの設置については現時点で検討している内容はなく、今後の検討事項としたい。駐車場については、現在の本庄小学校に 23 台の駐車区画がある。図面上は 70 台であるが、ロータリー等の配置で実際の駐車可能台数は前後することとなるが、現在の本庄小学校より広く確保が可能となる見込み。

- ・グラウンドでは 200m トラックの確保を検討してほしい。

→今回提示のいずれの施設配置においても公式 200m トラックの確保には課題がある。敷地全体の活用の中で可能性は探りたい。

- ・現在、本庄小学校には敷地内に畑、中庭がある。新設校の計画にもこれらが含まれるか。

→具体的な設備等の計画は、これから平面配置を検討するにあたり、必要諸室の確保、敷地の活用を検討する中でしていきたい。

- ・現在、消防団の活動で本庄小学校グラウンドを使用しているが、消防車両がグラウンドに侵入する通路は確保されるか。

→北側からグラウンドに車両が進入するルートは既存のまま残すことを予定している。

- ・現在の本庄小学校グラウンドは水はけが悪いと認識しているが、新校舎の建築に向けて同時に改良する計画はあるのか。

→A案によるゾーニングであっても、現在の不備不良な施設等については可能な限り改善を図るべきと承知している。

- ・道路から小学校への進入路が現在の本庄小学校においても狭小である。どの案においても道路は狭小のままであるが、新校舎建設にあたり拡張は可能か。

→道路から小学校敷地への道路が狭小であることは認識している。必要に応じて用地の確保も視野に入れて検討を進めていく。

最終的に、今回のゾーニング案（特にA案やC案の比較検討、グラウンドへのアクセス動線等）について出された懸念や意見、また、現在実施している教職員アンケートの結果などを今後の設計の参考資料・検討材料とし、事務局及びキタイ設計株式会社により、次回委員会に向けて詳細な配置図に落とし込んでいくこととなりました。

4 その他

- ・第4回委員会の欠席は1名
- ・次回第5回委員会は10月上旬を予定

5 閉会挨拶（福嶋委員長）